

救護棟カルテ No. 11



春から梅雨にかけて若い野生動物の搬入が多くありました。救護棟に母親を亡くしたキジとカルガモの幼鳥が運ばれてきました。

カルガモの幼鳥が野生復帰しました。

5月中旬、カルガモのヒナ3羽が野生生物共生センターに運ばれてきました。母鳥は線路内に入ったところを貨物列車にひかれてしまい、死亡しました。取り残されたヒナ3羽を市民の方が見つけ、直接連れてきてくれたのです。

当初、ヒナは28gと小さく、生後約3日以内と推測できました。幸いヒナたちに怪我はありませんでした。原則、ヒナの保護は行っていませんが、母親が死亡していることがわかっていたため、ヒナたちが自分たちの力で生きていけるようになるまで、スタッフの手で育てることになりました。

3羽のヒナたちはたくさん食べ、日に日に体重が増え、体も大きく成長していきました。初めは、丈夫な体を作るため、動物質が多く含まれている餌（乾燥させた赤虫や糸ミズなど）を多くあたえ、徐々に、植物質の餌（きざんだ小松菜や白菜、砕いた穀類など）を増やしていきました。



5/14搬入時の様子
体重28g

5/22プール運動開始時の様子
体重68g～76g

6/13外施設での様子
体重300gほど

保護されてから5日目、プール運動と日光浴を始めました。ヒナはカルシウム不足や、成長不良などにより、脚が動かさなくなって死んでいくケースが多くあります。野生下では安全な場所や餌場を探して、母親の後ろをついて多くの距離を移動したり、川を渡ったりして、成長していきます。そのため、脚や体を動かしての運動と日光浴はとても重要です。初めは1分もしないうちに尾がぬれてきたり、すぐに陸に上がってきたりしていましたが、毎日、プール運動を繰り返しているうちに、15分、30分と泳いだり、水にもぐる姿を見せるまでになりました。天気の良い日は時間を見つけ、日光浴をさせました。

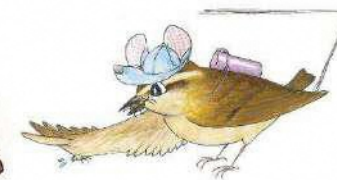
6月初旬になると体重も一気に増え始め、140g～200gほどになり、成鳥の顔立ちに近づき、水かきも立派になりました。その後、外の世界になれるため、野外の訓練施設（水鳥舎）に移動しました。

6月下旬には300g～500gにまで体重が増え、翼も少しずつ成長し、野生に帰ることができる状態になりました。3羽のヒナは救護してくれたご家族に見守られ、生まれた二本松市の川へ帰っていきました。

カルガモは日本で唯一春に国内で子育てをするカモ類です。カルガモの生息域は年々、人々の暮らしに溶け込み、公園や貯水池、駅近くなどでみられることが多くなりました。こうした中、この3羽のヒナたちが母鳥のような事故に巻き込まれないためにも、人と野生動物が共に暮らしていける環境作りをより一層考えていかななくてはなりません。



あだたら 森の回覧板



ヤブサメ

Vol.11 夏号



【野生生物共生センターの役割】

野生生物共生センターは、安達郡大玉村の県民の森内にある福島県環境創造センター（三春町）の附属施設です。

当センターでは、旧鳥獣保護センターでおこなっていた野生動物の救護業務に加え、生物多様性に関する普及啓発、野生動物に対する放射性物質の影響調査など、私たちと野生生物の関係を「私たちの生活」と「放射線」の観点から考え、伝える役割を担っています。



野生生物共生センターでは、野生動物の剥製やパネルの展示、映像放映等をおこなっており、入館料無料で自由に見学・閲覧できます。事前にご相談いただければ、団体でのご利用や職員による解説などの対応も可能ですので、興味をお持ちの方はお問い合わせください。

詳しくは... [HP](#) [環境創造センター](#) [検索](#)

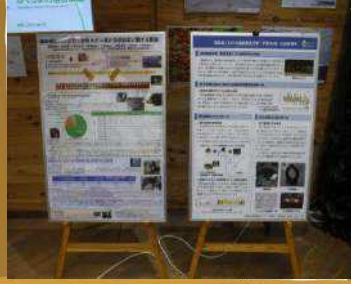
発行: 福島県野生生物共生センター
〒969-1302
福島県安達郡大玉村玉井字長久保 67
電話 0243-24-6631
開館時間 9:00～17:00
休館日 毎週月曜日
(祝日の場合はその翌日)

館内施設紹介



館内の施設・展示を紹介するよ。野生生物に関する展示が盛りだくさんだよ！

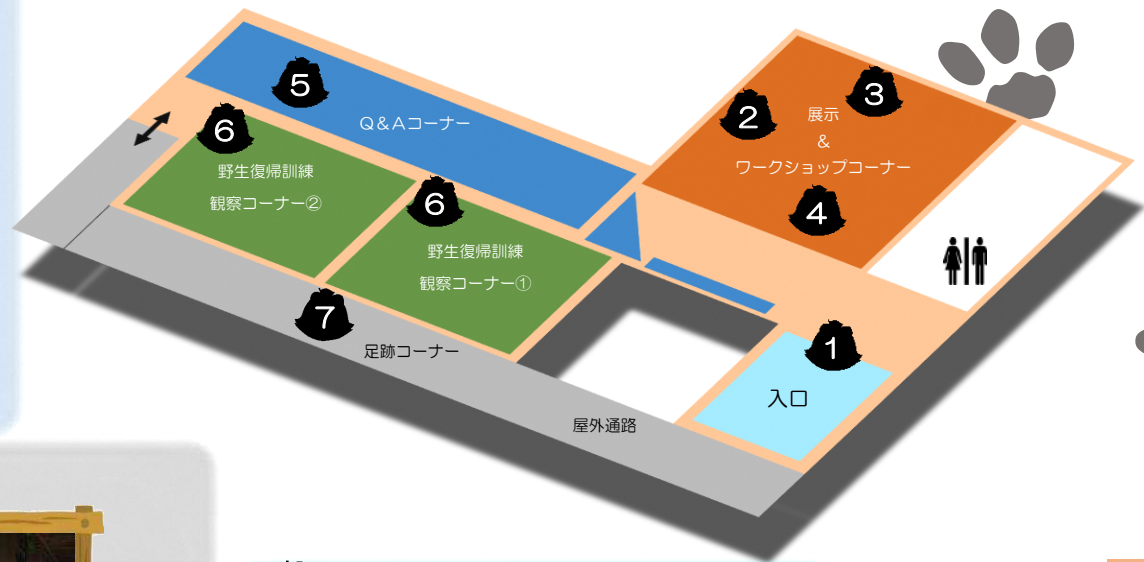
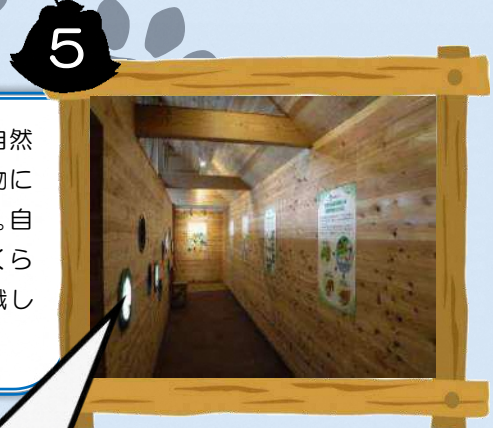
野生動物に関する調査研究の報告をしているよ。私たちの生活と野生動物にどんな関係があるか、様々な調査研究を行っているんだ！



県内に生息する野生動物のはく製の展示や救護に関する動画を放映しているよ。また、色々なワークショップを通じて、実際に触れながら生態を学ぶことができるよ！



私たちの周りにある自然環境や身近な野生生物に関するクイズがあるよ。自然環境に関してどれくらい理解しているか挑戦してみてね。



Q&Aコーナーの窓からは、治療が終わって野生に復帰する訓練をしている動物を観察することができるよ。運が良ければ希少な動物を見られるかも！



ここで紹介した以外にも色々な展示を行っているよ。季節によって展示やワークショップも入れ替わるからみんなで見学しに来てね！



イベント情報

野生生物共生センター及び猪苗代水環境センターでは、令和2年7月23日（木）から10月31日（土）までの間、クイズラリーを開催しています。両施設に設置してあるクイズに正解することで参加賞を、また正解した人の中から抽選で豪華賞品が当たるイベントとなっています。

期間中にお越しいただき、是非クイズに参加してみてください。詳細はHPからご確認いただけます。

